2023年 新年のごあいさつ

宮古島市長
座喜味 一幸

たしかな豊かさ実現へ

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、晴れやかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中も、市民の皆様の深いご理解とご協力により様々な事業を進めることができました。

市民の皆様に対し、改めて感謝申し上げます。

昨年は、2020年から猛威を振るって来た新型コロナウイルス感染症による移動制限が解除され、旅行や出張等移動の需要が高まったことで、入域観光客数もコロナ以前の状況まで回復してきました。

これまで中止を余儀なくされていたイベント等も再開されるようになり、「宮古の産業まつり」や「I7ENDハーフマラソンin伊良部島大会」等、多くの市民や観光客の皆様が参加する大規模イベントも開催されました。イベント会場では、参加された多くの市民の皆様の笑顔を見る事ができ、日常生活に戻りつつあることを実感するとともに、市政運営の大切さを改めて感じる機会となりました。

観光面においては、令和2年10月に就航した羽田～下地島線が7月に累計搭乗者数が10万人を達成するといった明るい話題もありました。また、コロナ後を見据え経済活動が徐々に活性化しており、経済の回復に希望の光が見えた年となりました。

一方、海外情勢や円安の進行等によりエネルギー価格が高騰し、生活コストの上昇や各産業分野における経費の増加等大きな負担が生じ、家計への影響は深刻となっております。さらに、国際的な穀物供給不足に伴い穀物等を原料とする配合飼料及び肥料の購入価格が高騰し、農畜産業の経営に大きな影響が生じております。

市としましては、上下水道料金の免除や、肥料、農業資材価格高騰に対する支援事業等を実施し、市民負担の軽減に取り組んでいます。今後も、国や県の取り組みをみながら、各種施策を検討・実施してまいります。

さて、昨年は沖縄が日本復帰して50周年の節目の年でもありました。県内では、「沖縄復帰50周年記念式典」、「美ら島沖縄文化祭2022」、「第7回世界のウチナーンチュ大会」等、様々な催しが開催され、現在の私たちの豊かな暮らしや文化が、先人達の並々ならぬ努力の賜である事を再認識する機会となりました。

改めて、私たちが受け継いだ宮古島の美しい自然や文化を、しっかりと次の世代へ引き継いでいかなければならないと感じております。

今年は、本市最大のスポーツイベントである全日本トライアスロン宮古島大会が4年ぶりに開催されます。島を挙げて行われる本大会は、出場する選手の皆様だけでなく、選手を支えるボランティアスタッフや関係機関の皆様、沿道で応援する皆様等、大会に関わる全ての方々と共に作り上げていくイベントです。市民の皆様におかれましては、是非様々な形でトライアスロンにご参加頂き、一緒に大会を盛り上げて頂きたいと思います。

市政においては、市民の皆様の生活を支援する新たな施策もスタートします。

新婚世帯の結婚生活を支援する「結婚新生活支援事業」や、ひとり親家庭の居室確保及び子育てサポート、資格取得等の支援を行う「ひとり親家庭生活支援事業」を実施するほか、市と小田原短期大学の連携により、市内で幼稚園・保育士の資格取得が可能となる取り組みが始まります。そのほか、全ての市民の皆様が安心して生活できる環境を官民連携で整えてまいります。

市長就任以来取り組んで参りました6次産業化の推進につきましては、昨年度から学校給食に宮古島食材を積極的に取り入れており、今年2月には学校給食食材のほとんどを市内生産物で賄う「みゃーく食材の日」を設定する等、域内循環を高める取り組みをさらに進めてまいります。

2020年から続くコロナ禍も、一時期に比べると落ち着きをみせてはいるものの、まだまだ予断を許さない状況となっております。本年も引き続き感染対策に配慮しながら、市民の皆様と共に活気溢れる宮古島を取り戻していけるよう、より一層努力してまいります。

結びになりますが、本年も市民の皆様にとりまして幸多き一年となりますよう祈念いたしまして、新年の挨拶といたします。

市長	座喜味一幸
副市長	伊川秀樹
教育長	大城裕子
企画政策部長	垣花和彦
総務部長	与那覇勝重
福祉部長	仲宗根美佐子
市民生活部長	友利毅彦
農林水産部長	砂川朗
建設部長	大嶺弘明
観光商工スポーツ部長	上地成人
環境衛生局長	下地睦子
水道部長	兼島方昭
産業振興局長	宮國範夫
消防長	宮國和幸
会計管理者	天久珠江
教育部長	砂川勤
生涯学習部長	友利克
議会事務局長	下地貴之
他職員一同	

謹賀新年

宮古島市議会議長
上地 廣敏

活力にあふれ・実り豊かで明るい一年へ

あけましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい令和5年の新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

旧年中は市議会に対しまして、温かいご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、海外情勢や円安の影響を受けた燃料の高騰や物価高、一昨年に引き続いての新型コロナウイルスの感染拡大など、地域経済・市民生活に暗い影を落とす一面もあった年でした。

その一方で、明るい話題もありました。

基幹作物であるさとうきびの生産量は、長雨による製糖操業の遅れはあったものの、品質や糖度も良く、2年連続で35万トンを超える豊作となりました。

沖縄県畜産共進会においては、宮古島市として団体2連覇を達成したことをはじめ、出品された肉用牛が農林水産大臣賞を受賞するなど、輝かしい成績を収めました。

今年は、4年ぶりに全日本トライアスロン宮古島大会や100㎞ワイドーマラソンが開催されることとなります。

また、海外クルーズ船の再開が予定されていることやトゥリバー地区での大型ホテル開業など、多くのスポーツイベント参加者や観光客の来島も見込まれます。

県が策定した「第6次沖縄県観光振興基本計画」では、入域観光客数を指標から外し、満足度、観光収入及び延べ宿泊者数の向上を目標としていくことが示されました。本市においても、これまでのような観光客数の増加を目指すばかりでなく、観光収入増や満足度向上を目標とする「量から質へ」の転換が求められます。

市議会においては、昨年9月定例会より、議会用タブレットが導入され、今年から本格的な運用を予定しており、当局と連携したペーパーレス化を進めてまいります。また、以前は一般質問のみであったYouTubeでの議会配信につきましても、現在は本会議すべてを配信しており、ライブ配信だけではなく、いつでも視聴できる環境が整っております。今後も議会運営のICT化に向けて取り組んでまいります。

結びになりますが、新しい年が市民の皆様にとりまして、活力にあふれ、実り豊かで明るい一年となりますよう、議員一同、心よりご祈念申し上げ、年頭の挨拶といたします。

議長	上地廣敏
副議長	長崎富夫
議員	久貝美奈子
議員	下地茜
議員	砂川和也
議員	狩俣勝成
議員	富浜靖雄
議員	下地信男
議員	新里匠
議員	狩俣政作
議員	山下誠
議員	池城健
議員	上地堅司
議員	仲間誉人
議員	平良和彦
議員	下地信広
議員	我如古三雄
議員	前里光健
議員	西里芳明
議員	友利光徳
議員	上里樹
議員	粟国恒広
議員	平良敏夫
議員	山里雅彦